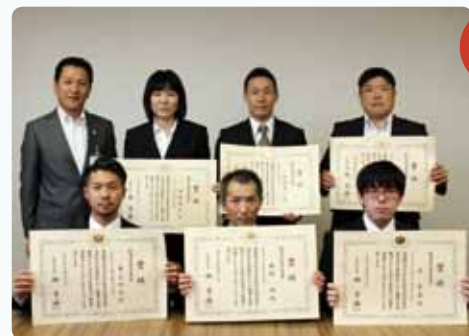




5月21日

技術改善に貢献し6人が受賞

文部科学大臣表彰創意工夫功労者賞を受賞した明光化成工業株式会社の相部徹さん、原智美さん、伊藤美和さん、山田盛一さん、明智セラミックス株式会社の青山修弘さん、株式会社 UACJ 金属加工恵那工場の佐藤一孝さんの6人が小坂市長に受賞の報告をしました。

優れた創意工夫によって職域における科学技術の進歩や改良に貢献した個人またはグループを表彰するもので、全国で971人、県内では27人が受賞しました。明光化成工業は15年連続の受賞。明智セラミックスは3年連続の受賞。UACJ 金属加工恵那工場は初受賞となりました。



5月13日

84人が新たに入隊、火災予防を誓う

平成30年度の市少年消防隊入隊式が恵那文化センターで行われました。

式には、新入隊員84人と継続隊員84人の、合わせて168人の内152人が出席しました。隊長の栗田凌太郎君（大井小学校6年）が、安藤克己消防団長に「火災予防を心掛け明朗活発な模範となる隊員になることを誓います」と力強く宣誓しました。安藤団長は「色々な体験を通して、火災予防の大切さ、火の消し方、地震の怖さなどを勉強し、恵那市の安心・安全なまちづくりに役立ててください」と訓示を述べました。隊員は、年間を通じてさまざまな体験や訓練を行います。



5月23日

消防用水を運搬する連携訓練を実施

恵那生コンクリート協同組合に所属する市内に事業所のある宇部生コンクリート株式会社（大井町）と株式会社丸九興業（上矢作町）の2社が、市消防本部と大規模な火災に備えた連携訓練を行いました。

この訓練は、平成28年12月に新潟県糸魚川市で発生した大規模火災時に、企業が所有するコンクリートミキサー車で消火用の水が供給され、消火活動に多大な効果があったことから、大規模火災発生時の水利の確保に万全を期すために実施されたものです。市内企業との協力態勢と連携強化を目的にした訓練では、東濃地域で初めての実施となりました。



5月19日

豊作願って舞い踊る「次米お田植え祭」

長島町正家で「恵那の里 次米みのりまつり」の第1幕として「次米お田植え祭」が行われました。

豊作への祈りを込めた神事が始まり、みこの衣装に身を包んだ恵那北中学校の小栗かほ那さんと山田菜那さんが浦安の舞を奉納。その後、恵那農業高等学校の生徒や長島小学校児童らが両手に苗を持ちお田植え踊りを披露し、早乙女が白装束にかさをかぶったいでたちで、横一列になって苗を植えていきました。親子で唄踊りに参加した長島町の石原玲子さんは「お米にまつわる伝統的な行事に、子どもと参加できてうれしい」と話しました。



5月3日

興奮と感動のSL乗車体験

明知鉄道明智駅構内で、SL（蒸気機関車）の乗車体験会が行われました。運転室の助手席に乗車できるコースと車掌車に乗車できるコースに分かれ、約120メートルの距離を往復走行しました。この日は5回の走行があり、大勢の家族連れらが参加。出発前の車庫内では、SLの正面で記念撮影をしたり機関士から説明を受けたりしました。SLがゆっくり動き出すと、参加者は迫力の音と乗り心地を楽しみました。

SL乗車体験は今後も7月8日(日)、8月4日(土)、10月28日(日)、12月2日(日)、平成31年3月9日(土)に開催が予定されています。



4月18日

交通事故死ゼロ300日達成

交通事故死の防止に功労があったとして、岐阜県警察から恵那市と恵那地区交通安全協会に感謝状が贈呈されました。

市内では平成29年6月17日から平成30年4月12日までの300日にわたり、交通事故死が発生しておらず、感謝状が贈呈されることになりました。東濃地域では瑞浪市、土岐市に次いで3番目の贈呈です。恵那警察署で行われた贈呈式では、岐阜県警察の今林寛幸本部長から、小坂市長と、西尾歳一恵那地区交通安全協会副会長へそれぞれ感謝状が贈られました。小坂市長は「市民の皆さんの取り組みが評価されたもの」と喜びました。



5月8日

運転手の目線でバスの危険を学ぶ

長島町の恵那北小学校でバス交通安全教室が開かれました。全児童の6割がバス通学をしている当校では、児童が安全にバスを利用できるように、バス通学をしていない児童も社会見学や旅行などの際に役立てられるように、この教室を開催しています。

この日は、1年生から6年生の全児童72人と教員、保護者らが参加しました。東濃鉄道株式会社恵那営業所の社員3人が講師となり、バスの運転席から見た死角を児童らに教えました。

5年生の柘植洋人さんは「もし、見えない場所に人がいたら怖い」と実感を込めて話しました。



5月3日

大正村が戦国絵巻に包まれる

戦国武将明智光秀にまつわる名所が多く残る明智町で、光秀まつりが開催されました。

明智光秀公武将行列では、甲冑姿や着物姿を装った明智小学校6年生児童ら約100人が練り歩きました。行列の主役となる明智光秀役は、明智小学校の高橋光弘校長が務めました。この日は日本大正村の村長を務める女優の竹下景子さんも行列に参加。山車に乗車し、手を振ったり声を掛けたりして観衆に応えました。

会場一帯では居合演舞や火縄銃演舞など、祭りを盛り上げる催しも繰り広げられ、訪れた多くの観衆を楽しませました。